

# 地域ケア会議への事業協力 —秋田市での関わり—

---



秋田県作業療法士会

中通リハビリテーション病院  
原田 大河

発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

# 秋田市の地域ケア会議について

地域ケアネットワーク会議

地域包括支援センター主催

各地で年に2回(計36回)



OTは2017年度  
から参加

従来の地域ケア会議の役割に加え、多職種の  
ネットワークの構築を目的として始まった

# 秋田市の地域ケア会議について

---

18：30～20：00の地域が多い(平日日中の地域もある)

対面で行っていたが、コロナ流行で開催できないこともあり、徐々にzoomに移行している

現在は地域にリハ専門職2名ずつの担当制

定額の報奨金が発生する



# 中央ブロック長としての関わり

事業参加のための地盤づくり

PT士会・ST士会の中央ブロック長と話し合い

市長寿福祉課と中央ブロック長で話し合い

18地域の担当者を選出

市長寿福祉課に担当者の連絡先リストを提出



# 助言者としての関わり①

## 基本知識を身に着ける

日本作業療法士協会が発刊している  
「地域包括ケアシステム参画の手引き」で知識を得る



秋田県作業療法士会やリハビリテーション専門職協議会  
などの職能団体が開催している人材育成研修会に参加する

県  
士  
会

地域生活を支援する  
作業療法研修会  
(基礎編・応用編)

協  
議  
会

地域支援事業に資する  
人材育成研修会



# 助言者としての関わり②

## 参加までの流れ

中央ブロック長  
から依頼が来る

職場と相談する

地域担当に登録  
される

事前準備

市長寿福祉課から依頼が  
来る(公文書)

職場に報告する

地域包括支援センターか  
ら依頼が来る

公的な流れ



日程調整  
して  
参加する



# 助言者としての関わり③

## 職場での調整

※職場で信頼を得ていることも重要

## 承諾を得る

職場長に説明

地域ケア会議について  
説明できる知識が必要



施設長に説明

職場長もしくは自分が行うが、  
より理解を得られる方がいい

## コロナ禍の対応

参加者が医療・福祉・介護の専門分野で働いている人  
なので、十分な感染対策がなされている、最近ではzoom



# 助言者としての関わり④

## 参加にあたっての職場での調整



### 勤務上の手続き

自分の時間で参加(週休・年休・業務後)

回復期の強み



勤務の調整、チームメンバーの理解

普段の貢献度

### 報奨金の扱い

職場と相談



自分の時間なのでもらうことに

業務配慮ならば職場に





# 助言者を超えた関わり

関わる全員が不慣れ

※初期の話です

事例提供者に叱咤する傾向

労い、プランを認めた上で専門的な視点の助言



会議が停滞

流れを変える発言(話題を変える、他者に振る)



zoom開催への抵抗・不安

事前に研修会の成功例や注意点を伝える、当日もサポート



# 課題

参加者が少なく一部に負担

よくわからない、自分とは関係ない

本日この場で興味を持ってもらえたら、まずは研修会へ！



地域ケア会議の件数が増えない

書類の作成や専門職との調整など、開催者の負担

労力に見合った成果を！

▶ 助言の質を高める必要

